

地元住民による放水訓練



文化財保護に地域住民ら防火訓練

◎国指定重要文化財善光寺薬師堂防火訓練

国の指定重要文化財である善光寺薬師堂を地域で守ろうと1月26日、近隣住民や地元消防団が防火訓練を行いました。

この訓練では、鬼北消防署員指導の下、火事が起こったことを想定して、その対応方法や消火器具の使い方などの指導を受けました。

普段、消火用のホースを持つことがない住民らが放水訓練を行ったり、本物の消火器で消火訓練を行ったりと、地元の文化財保護に意識と結束を高めた様子でした。

勢いよく炎を上げるやぐら



寒空焦がす炎に無病息災の祈り

◎愛治地区どんど焼き

正月に迎えた神様を送る火祭り「愛治地区どんど焼き」は1月15日に行われ、同地区の区長や地元住民ら130人が参加しました。

訪れた住民らは、「愛治活性化集団来夢（末廣啓会長）」が設置した高さ約4メートルのやぐらに、正月に飾っていたしめ飾りやお守りを投げ入れました。そして、神事のあとやぐらに点火。火は瞬く間に燃え上がり、住民らは無病息災の祈りを込めて見つめていました。その他「愛治活性化集団来夢（芝美知子会長）」からぜんざいが振る舞われたり、餅まきが行われたりしました。

保護者と野菜を切る園児



食の大切さ調理の楽しさ親子で学ぶ

◎近永保育所保育参観

保育所での子どもたちの様子の参観と保育士と保護者の交流を目的とした「保育参観」が1月24、26の両日、近永保育所で行われました。普段は保育所内での参観をしているこの催し。今回は趣向を変えて、同園の青組園児とその保護者が中央公民館で調理体験を行いました。

園児らは、役場保健福祉課の小西菜養生から食べることの大切さや調理の説明を受けた後、調理開始。子どもたちは、野菜を切ったり具をこねたりと、楽しそうに調理をしていました。

愛媛県警防災ヘリ「いしづち」



迅速な対応に向けて空からの備え

◎愛媛県警防災ヘリ対応訓練

災害時のあらゆる状況に対応できるようにと鬼北交番に設置された臨時ヘリポートに1月22日、県警が所有するヘリコプター「いしづち」が着陸しました。

この臨時ヘリポートは、東南海・南海地震などで被害が大きいと予測される南予地域で、情報収集、行方不明者の捜索、給油や被害状況の把握などを迅速、効率的に行うために設置。この日はその「対応訓練」として同交番を訪れたものです。